

キャリア教育、現状語る

法政大 児美川教授 揖斐川町で講演



キャリア教育の課題について講演する児美川孝一郎教授＝揖斐川町谷汲名礼、谷汲サンサンホール

揖斐川町三輪の揖斐高校が進める県立高校改革リーダーディングプロジェクト推進事業の基調講演が、同町谷汲名礼の谷汲サンサンホールで開かれ、法政大キャリアデザイン学部の児美川孝一郎教授がキャリア教育の現状や課題を語った。

同事業は県教育委員会が社会の変化に対応した教育改革のための

優れたプロジェクトを指定、支援する制度。同校は単位認定の教育実習科目を開設する「連携型中高一貫校におけるデュアルシステム」の研究に取り組んでいる。

講演には、同校や町内中学校の保護者ら約60人が参加。児美川教授は「若者の就職が困難な時代にく保護者、学校、地域にできるこ

とく」と題し、「キャリア教育は就業が目標の時代から、自分がどう生きるかの軸を見つめる時代になった」と語り、「保護者や学校、地域はじっくり見守り、自主的な行動力と対応力を身に付けさせることが重要」と語りかけた。

同校では今後、町商工会の協力も得ながら新たな実習科目開設に向けた研究を進める。

(森嶋哲也)

- ・この新聞記事掲載は岐阜新聞から転載を許可されたものです。
- ・このページ記載の新聞記事の著作権は、岐阜新聞にあり二次使用は許可されていません。